

資源評価調査

森 啓介・池脇義弘・天真正勝・住友寿明・増田多生
楠本輝一・今治美久・悦田 明・藤岡保史・渋江 文

本調査の目的は、国連海洋法条約の発効に伴い我が国水域内の水産資源の漁獲可能量(TAC)を決定して水産資源の有効利用及び管理を行うために必要な基礎資料を整備することである。独立行政法人水産総合研究センターからの委託により、業務を実施した。以下に、平成14年度調査の内容と実施状況の概要を記す。

1 漁獲成績報告書の収集

中型まき網1統について漁獲成績報告書を整理した。

2 年齢別漁獲状況

次について銘柄別漁獲量を集計した。

(1) 内海

北灘漁協：まき網のマイワシ・カタクチイワシ、
定置網・小型底びき網のマダイ

鳴門町漁協：一本釣りのマダイ

徳島市漁協：小型底びき網のヒラメ

椿泊漁協：定置網・小型底びき網のマダイ、定置
網・小型底びき網・刺網のヒラメ、延縄のトラフグ

橘町漁協：釣・延縄のトラフグ

(2) 外海

椿泊漁協：定置網のマアジ・サバ類・ブリ・マダ
イ、釣のマダイ

東由岐漁協：定置網のイワシ類・マアジ・サバ
類・ブリ・マダイ

牟岐東漁協：釣のマダイ・マアジ・サバ類・ブリ

牟岐町漁協：定置網のイワシ類・マアジ・サバ
類・ブリ・マダイ

鞆浦漁協：大型定置網のイワシ類・マアジ・サバ
類・ブリ・マダイ

3 標本船調査

次の標本船日誌調査を実施した。

船びき網（和田島漁協7統、橘町漁協1統、阿南漁協4統）
のシラスの漁獲量、操業場所等の操業日誌（周年）

4 生物測定調査

(1) 体長測定調査

次の体長測定を実施した。

北灘：カタクチイワシ・マイワシ

和田島：カタクチシラス

椿泊・牟岐：イワシ類・サバ類・マアジ・ブリ

(2) 魚体精密測定調査

体長測定と同一の調査地、魚種について、月1-2回
の精密測定（体長、体重、性及び生殖腺重量）を実施
した。

5 魚卵稚仔量調査

イワシ類・アジ・サバ等の魚卵稚仔量を把握するため
次の調査を実施した。

(1) 調査海域（定線名）：紀伊水道（ナ-セ-2）、海部
沿岸（ナ-2-2）、海部沖合（ナ-2-3）

(2) 調査項目：卵稚仔

(3) 調査方法：改良型ノルパックネット(口径45*高さ
180cm、オープニング0.335mm)の垂直びき

(4) 調査点数

改良型ノルパックネット：紀伊水道12点/月、
海部沿岸12点/月、海部沖合8点/月(ただし、平成
15年1月は調査船ドックのため欠測)

6 調査結果の報告

得られたデータについては、電子情報に変換した後
我が国周辺漁業資源調査情報システム(FRESCO)により
関係先へ電送・報告した。